

第 32 回 テニス競技実施要項

1. 競技種目

A クラス・Bクラスごとに分けて、下記種目を行う。

(1) A クラス

シングルス戦 :男子シングルス・女子シングルス

ダブルス戦 :男子ダブルス・女子ダブルス

(2) B クラス

シングルス戦 :男子シングルス・女子シングルス

ダブルス戦 :男子ダブルス・女子ダブルス

2. 競技規定

大会開催年度の(公益財団)日本テニス協会のテニス競技規則及び本大会申合せ事項によるものとする。

3. 出場資格

- (1) 出場人数について、加盟団体毎に制限を設けない。
- (2) 選手はAクラスとBクラスのどちらかに出場できる。両クラス同時出場はできない。
- (3) Aクラス、Bクラスも、シングルス・ダブルスの単数、複数出場はできる。
- (4) Bクラスを選択する者で、最近過去2年の全国ろうあ者体育大会 Aクラス・シングルスでベスト16以上の者は該当しない。
- (5) Bクラスを選択する者で、最近過去3年の全国ろうあ者体育大会 Bクラス・シングルスで優勝及び準優勝した者は該当しない。
- (6) 加盟団体内でダブルスのペアが組めない場合、大会競技実施要項規定6(2)により、当該ブロックの他加盟団体の者と組むことができる。それでも組めない場合は、ブロック枠を越えて組むことができる。

4. 競技方法

- (1) Aクラス、Bクラスも男女各シングルス、男女各ダブルスにおいてトーナメント方式とする。但し、参加状況によりリーグ戦とすることがある。
- (2) 1試合1セットマッチ6ゲームオール7ポイント・タイブレークとする。
但し参加状況により、下記のルールを採用する。
 - ・ 1試合1セットマッチ4ゲームオール7ポイント・タイブレーク
 - ・ 1試合1セットマッチ8ゲームオール7ポイント・タイブレーク
 - ・ 1試合3セットマッチ6ゲームオール7ポイント・タイブレーク
- (3) 天候により、ノード方式など技術委員の判断で指示を行なう。
- (4) 1日目シングルス、2日目ダブルスとする。
- (5) シングルスの場合1日1人あたり男子6試合女子5試合を限度とする。
- (6) 事情により、1日目が開催されなかった場合、シングルスを優先とする。
コートはオムニとする。
- (7) JTA 競技規則 チェアアンパイアのつかない試合規則を全て適用する。
よって、適当数のロービングアンパイアを置かなければならない。
- (8) 競技中は補聴器の装着を認めない。

5. 使用球

JTA公認ボールを使用する。

6. 組み合わせ

- (1) 参加申し込み締め切り後、実行委員会・審判長・技術委員と申し合わせを行なう。合意を経てから実行委員会において、審判長立ち会いのもとで代理抽選により決定する。
- (2) 1回戦は同県および同ブロック同士とならないように配慮を行なう。
- (3) Aクラスにおいてシードは次のとおりとする。
 - ・シード順位は技術委員の合意を得るものとする。
 - ・シード抽選はJTA競技規則に従って抽選を行なう。

7. 表彰

各種目とも決勝戦終了後、閉会式において行う。

8. 注意事項

- (1) 試合は発表されたオーダーオブプレーに従い、遅滞なく続けなければならない。(JTA 競技規則による。)
- (2) ウォーミングアップは3分以内とする。ただし、試合の進行状況によってはサーブ4本のみとする場合がある。
- (3) 競技サインについて
 - ① ポイント
 - ア) 0(ラブ) 指全部で0をつくる。(指文字の「お」)
 - イ) 15(フィフティーン) 1とし、人差し指を1本立てる。
 - ウ) 30(サーティー) 2とし、人差し指と中指の2本を立てる。
 - エ) 40(フォーティー) 3とし、人差し指と中指と薬指の3本を立てる。
 - オ) デュース 両手で下に向けて閉じるしぐさをする。
 - カ) アドバンテージ こぶしを握り、親指を水平にして(指文字の「あ」)をその得点プレーヤーにむける。
 - ② コール
 - ア) 「アウト」「フォルト」又は「ダブルフォルト」は、片手を高く上げて示す。
 - イ) 「グッドボール」は、腕を伸ばし、手のひらを下に向け、胸より下に示す。
 - ウ) 「レット」は、両手を肩より高く上げた後、片手の手のひらをひらき(ネットを意味する)、もう一方の手は握り(ボールを意味する)ネットに触れた様子を示す。そして、指を第1サービスの時は2本立て、第2サービスの時は1本立てる。
 - エ) 「ノットレディー」および「タイム」は、両手で「T(ティー)」の形で示す。
 - オ) 「タイブレーク」は、両コートに対してこぶしを握り両手の親指を立てて「対等」の手話で示す。
 - カ) 「エンドの交替」は、両手を左右に伸ばし、それを左右に交差させる。
- (4) 服装とテニスシューズについて
 - ① 競技服装はJTA競技規則による。

9. その他

競技進行上、差し支えない限り、雨天でも決行する。

10. 本要項改正

- 一部改正 2004年2月22日 第6回全国委員会
- 一部改正 2005年2月27日 第7回全国委員会
- 一部改正 2006年2月19日 第8回全国委員会
- 一部改正 2009年2月8日 第3回本委員会
- 一部改正 2011年2月6日 第3回本委員会